

一人ひとりにピッタリの 自助具を作成

バリアフリーかふか

午後からは、甲賀町の林業交流センターで活動されている福祉用具製作ボランティアグループ「バリアフリーかふか」を訪ねました。

ここでは、体の不自由な方が不便に感じていること、人の手を借りないといけないことを、少しでもやりやすく、自分でできるように工夫した道具（自助具）を作成されています。

市販品とは違い、依頼者一人ひとりの手や足などの動きに合わせて作るオーダーメイド。大量生産が難しく高価になってしまいがちな自助具を、安い材料を使って試作を重ね作成される皆さんのボランティア精神に感心させられました。

▼工夫を凝らした自助具に感心



▼バリアフリーかふかの皆さんと



一文字ずつ心を込めて

点字サークル

続いて、ボランティア活動グループ「点字サークル」が活動されているかふか生涯学習館を訪問しました。

初めて見る点訳の現場でした。一文字ずつ点字機を使って点訳をされることは、根気との戦いになるそうです。また、後継者が少なくなっていることなどの苦労話も聞かさせていただきました。

最近では、パソコンで点訳ができるようになったそうです。いろいろな分野で機械化が進みますが、温かさがこもる活動は、人の心に伝わるものです。これからも皆さんの活動に期待を寄せています。

▼点字サークルの皆さんから説明を受ける市長



▼一文字ずつゆっくりと……点字に初挑戦

現場で説明を聞き 安全対策を確認

クリーンセンター滋賀

県が進める産業廃棄物管理型最終処分場「クリーンセンター滋賀」整備事業。

甲賀町神にある同施設を視察、事務所で現況を聞き、またさまざまな角度からの質問もさせていただきながら、処分場の安全管理対策を確認しました。

県から、安全で確実に廃棄物の処理が行われることは説明がありますが、現場で施設を直接確認することが大切です。開場はまだ先ですが、今後もし安心・安全が守られるよう現場で確認していきたいと考えています。

▼クリーンセンター滋賀の施設を視察



▼甲賀町神地先に整備されたクリーンセンター滋賀



▼事務所でまず現況説明